

## 地形図の名称について

2022/07/28

2004/4/29～5/2、山岳スキーで、室堂～剣沢～池の平小屋～大窓～馬場島のいわゆる「剣岳周回」をやった。(剣岳周回は、諸コースあり)

その時、大窓から番場島に滑降したが、仙人谷の名称が気になった。仙人谷は、東・中・西と三股に分かれている。

ただ、地図を見て「ややっ」と思った。三股の中仙人谷は良いが、東仙人谷と西仙人谷が分からない。東仙人は、北にあり源流は北東、西仙人は南にあり源流は東南。

これは一体何を基準に決めたのか。その時から気になっていたが、今回、国土地理院に聞いた。

### 「国土地理院への質問・1」

剣岳北に大窓があります。その西に、東仙人谷・中仙人谷・西仙人谷があります。中仙人谷は良いのですが、東仙人は北、西仙人は南方向です。

何故、東・西なのか不可解です。むしろ東は左仙人谷、西は右仙人谷のがスッキリします。東・西の理由をご教授下さい。

(注) ちなみに、大窓の南の池の谷(いけのたん)は右俣・左俣、更に南の東大谷は、左俣・中俣・右俣表記になっている。

### 「国土地理院の回答・1」

国土地理院の地図に表記する谷の名称などの自然地名は、「地元地方公共団体からの申請」に基づいております。

この地名の申請手続きの際に、地元地方公共団体から地名の表記、読み方や位置の情報を集めておりますが、その「由来」につきましては情報収集しておりません。

ですがいまして、お問合せのありました「地名の由来」につきましては把握しておりません。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

(注)「・・・」は編者

### 「国土地理院への質問・2」

返信をいただいた中で、申請とありますが、書き換えなどで定期的に申請を行っているということですか。

といいますのは、持っている、1977年(昭和52年)の2万5千図・剣岳を見ますと、現在、表記がある、中仙人谷は表記がありません。現在、中仙人谷表記があるのは、その間に、申請がなされ、表記されたと理解してよろしい訳ですね。

### 「国土地理院の回答・2」

自然地名の申請手続きにつきましては、地図に表記する地名の追加や削除、表記や読み方の変更があった場合に地元地方公共団体から申請をいただいております。

お問合せの「中仙人谷」は平成18年の上市町からの申請に基づき表記しております。

### 「上市町の回答」

富山県上市町役場の深沢氏の話は以下だった。

まず、中仙人谷だが、平成 18 年（2006 年）まで、ここは無名だったが、国土地理院に町が申請して「中仙人谷」となった。確かに、編者が持っている、昭和 52 年の 2 万 5 千図には、無名で表記がない。

ここで問題の「西仙人谷」の名称だが、参考地図で分かるが、かつて現在の「池平山」は、「西仙人山」と呼ばれていたという。従って、「西仙人山」から派生する谷だから、「西仙人谷」と呼ばれるようになった。

その後、理由は定かではないが、池平山山名は変更された。しかし、「西仙人谷」の名称は残った。

「東仙人谷」については、確たる根拠はないが、「西」に対応する形で「東」になったという。勿論、編者的には、大窓南の池ノ谷（いけのたん）や東大谷は、「左俣・中俣・右俣」なので、統一した方が良いと思うが、町は改称する考えはないそうだ。

### 「余談」

上市町は、平成 14 年（2002 年）、剣岳呼称を申請して、「**剣岳**」を「**劔岳**」とした。

理由は、町は昔から、その文字を使っていたという。

新聞等が申請前の文字を使っていて気になっていたという。確かに、前述の昭和 52 年の地図と現在の表記は違っている。

### 「まとめ」

今回の件は、ずっと疑問に思っていたが、「夏休みの宿題」で取り組んだ。登山を始めて 50 年以上になるが、誠に不勉強で恥を晒す訳だが、国土地理院地図の地名・山名は、国土地理院が付けていると思っていた。

それが調べてみたら、必ずしもそうでなく、当たり前といえば、当たり前だが、意外と「民主的」に作図が行われていた訳だ。

勿論、池平山のように、西仙人山が、どこでどのように現在の名称になったか分からない部分もある。

上市町の深沢氏は、町でも分からないという。そもそも、西仙人山名称が本当に存在していたかも明確でない。ま、その辺はミステリー・ロマンとしましょう。



小窓雪溪・北股を上る（左・池平山）

地理院地図  
GSI Maps





